

スキップVideoセミナー

5S改善の基本-3 —清掃・清潔・しつけ—

スキップコンサルティング

代表 鎌田 敦之

清掃

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

清掃の基本

清掃の基本は、ゴミや汚れをタイミングよく取り除き、快適に作業できる状態にすることです。単にきれいにするだけでなく、清掃には点検することが含まれます。自分たちの使っている場所、モノを隅々まで自分たちで手入れして、最適な状態を維持することと言えます。

日々の清掃

- 作業したら、掃除する。⇒ 作業前の姿に戻す
- 日常点検

元に戻す意識を徹底させる

- 共通箇所は、次の利用者のことを考える。

定期的清掃

- 場所、対象別に、清掃マニュアル等を作成する。
- できることを計画する。

発生源対策を追求する

- 汚さない工夫をする ⇒ なぜ汚れるかを考える

清掃点検

- 清掃しながらチェックする
- 視覚、触覚、聴覚、嗅覚を働かせる

日常点検と定期点検を清掃に合わせて実施する

- 点検箇所別のチェックシートを作成する

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

清掃点検

清掃は点検を行うために実施するといっても良い。清掃することにより、対象物に近づき、視覚、触覚、聴覚、嗅覚を通して、対象物の不具合や欠陥に気づくチャンスが生まれます。清掃では、単に掃除をするのではなく、対象物を観察する態度が重要です。

清掃点検のポイント

- 清掃対象の点検ポイント確認
- まず、視覚で異常の有無確認

点検は、設備本体だけでなく、付帯設備、建屋、インフラと清掃箇所に合わせて幅広く行う。

設備の清掃点検

- 視覚から、触覚、聴覚、嗅覚を使って清掃
- 1台ずつ、計画して定期清掃に合わせて実施

日常清掃

- 外観チェック
- 管理モニターチェック
- 装置温度(触覚)
- 異音(聴覚)
- 異臭(嗅覚)

定期清掃

- 機能チェック
- 配線、配管チェック
- 油圧、空圧チェック
- 締結チェック

※ チェックシートを作成して、実施する

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

『清掃』のまとめ

- ◆ 『清掃』まず身の回りから
 - 『清掃』すべき場所、設備を明確にする。
- ◆ 『清掃』にも時間軸が重要
 - 日々の清掃/定期的清掃/集中清掃
- ◆ 『清掃』することは点検すること
 - 異常を見逃さず、速やかに対応する。
 - 異常の兆候を感知し、事前に対策する。
- ◆ 『清掃』にも出来映えのレベルがある
 - 作業の種類、設備の種類、製品仕様によってレベル目標は異なる。
- ◆ 清掃しなくてよい状態が、『清掃』の究極のレベル
 - ※ 管理監督者は、有無を言わず叱ることも必要
 - 清掃の不備、設備の異常の見逃しは、5S全体の崩壊を招く。

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

清潔

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

清潔の基本

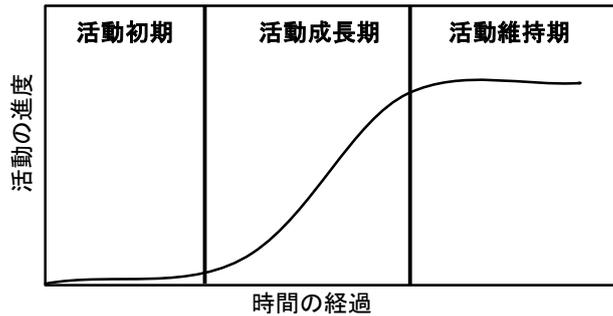
清潔の基本は、人間と同じでアカをためないことです。5Sでは、整理・整頓・清掃の3Sのレベルを維持し向上させるための仕組みを作り、継続して仕組みによる管理を行うことです。

5Sの進捗に応じた活動

溜ったアカを落とす
集中清掃
3定の確立

アカを溜めない
2Sの定期見直し
定期清掃
標準化と見える管理

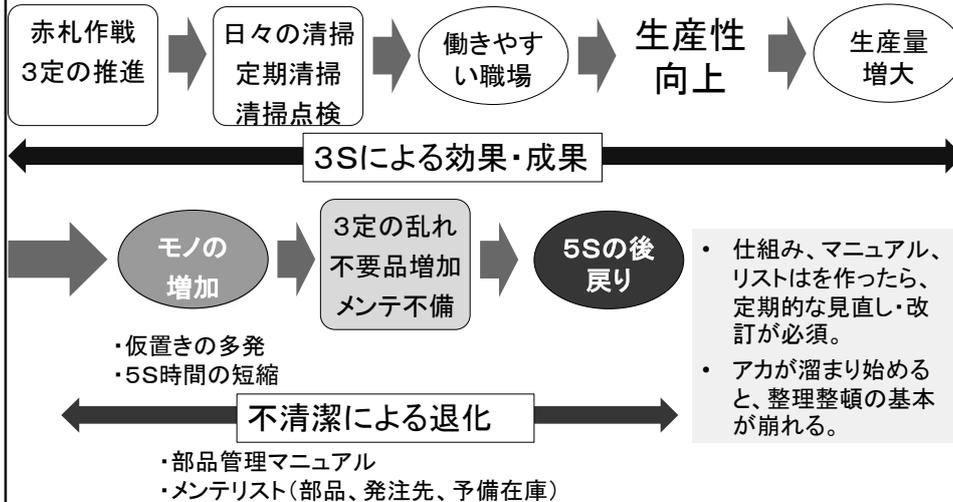
アカを付けない
不要品の即時処分
発生源対策
標準の見直し



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

清潔の継続的維持

『清潔』の目指すところは、3Sを維持向上させるためのルール、規律を標準化し、全ての関係者が同じような意識をもって行動できるようにすることです。後戻りしない仕組みの構築が重要です。



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

躰(しつけ)

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

躰の基本

しつけの基本は、決められたことを常に、正しく、行えるように習慣づけることです。そのために、ルールや規律を定めて、繰り返し行動するよう促す必要があります。しつけは5Sの中で最も難しい活動です。

4Sを習慣づける活動

- 当り前のことを、当り前に実行できるようにする。
- 繰り返し、正しく行動することを促す。

常識としてのしつけ

- 日常の挨拶、言葉遣い
- 作業服、身だしなみ
- 報連相

職場ルールの徹底

- ルール、手順、標準についての導入教育
- 新ルールの徹底(朝礼、昼礼、職場内会議)
- OJT(On the Job Training)
- 定期的な確認

正しく叱る

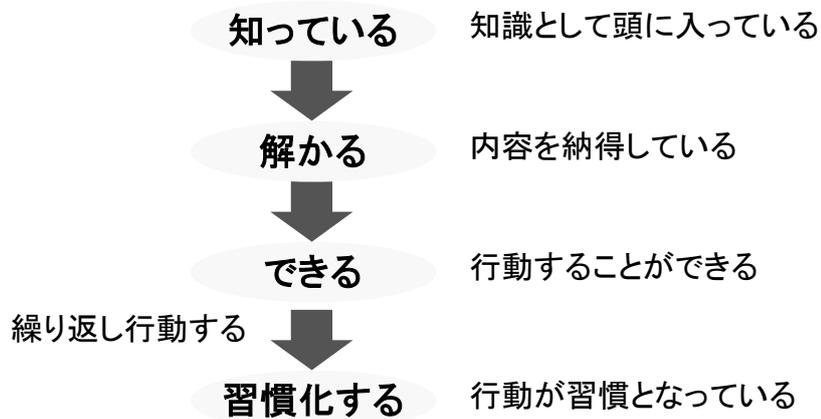
- ルールの不徹底は、職場リーダーを叱る
- 安全事項の不徹底は、本人とリーダーを叱る
- ルール順守意識の低い人には、直接指導

※ 4Sの乱れは、管理監督者の意識と行動を反映している。

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

4Sの習慣化にとどまらない躰

躰は、企業内のルール全般、一般的な常識を含めて全てが対象となります。単にルールや常識を理解するだけでなく、習慣化する必要があります。



Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

5Sのまとめ

- ◆ 5Sそれぞれの正しい意味を理解し、活動する
- ◆ 5S活動は、サイクルを回して出来映えのレベルを上げる
 - 「ありたい姿」を描き、マイルストーンとしての「あるべき姿」を共有する。
 - 定量的な目標を設定し、期間ごとに進捗度を評価する。
- ◆ トップ自らが活動を推進することが重要
 - 従業員とのコミュニケーションを活発化させ、今の課題を吸い上げる。
- ◆ 5S活動で現場を活性化させ、リーダーシップの醸成を図る
 - 担当エリア、設備の5Sは自分がリーダー。
- ◆ 5Sを通じて、標準化を進める
 - ルール、マニュアル、作業手順を通じて標準する。

※ スパイラルアップにより5Sレベルを向上させる

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

END

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.

日常清掃と定期清掃

日常清掃

使ったら元に戻す

世の中の
常識

治工具
設備
場所

都度実施
終業時実施

汚したら綺麗にする

- 清掃は日々の清掃、使用都度の清掃から始まります。これは世間一般の常識でもあります。
- 日常清掃での基本は、使用前に戻すことです。
- 使用器具、使用場所の状態を元に戻すことで、モノの状態、場所の状態が維持されます。

- 日常清掃を徹底しても、汚れの蓄積や劣化は発生します。
- 定期清掃により、汚れの蓄積、劣化の回復を図ります。
- さらに、より高い状態レベルを目指した工夫対策を実施します。
- 時間軸(頻度)や出来栄えを手順書などで明確にした上で、実施します。

定期清掃⇒集中清掃

蓄積汚れを元に戻す

全員参加

設備
場所

清掃マ
ニュアル

対象に応じた頻度

Copyright (C) 2024 スキップコンサルティング All rights reserved.